



名古屋市地域子育て支援拠点 ほっこりワクワクはなのこ広場

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ★予約受付日	3	4	5	6	7
8	9	10	11★感染症についての講習会	12★赤ちゃんデー	13	14 お休み
15	16	17	18★お話し会	19★2歳のあそぼう会	20	21 お休み
22	23★給食試食会	24	25・エリア支援	26	27	28
29	30★誕生日会	31				

「★」印は予約制、「・」印は予約不要です。(全て午前中です)

※ 2日(月) 13:30~15:45 予約受付日

- ★11日(水)「感染症について」: ひまわり保育園の看護師から感染症の話をお聞かせします。
- ★12日(木)「赤ちゃんデー」: わらべ歌と交流会(7組)
- ★18日(水)「お話し会」: 絵本や紙芝居の読み聞かせと、親子のふれあい遊び(7組)
- ★19日(木)「2才遊ぼう会」: 1歳8ヶ月~3歳未満のお友達の会。ボランティア泊さん
- ★23日(月)「給食試食会」: ひまわり保育園の給食を食べてみよう。1歳以上(7組)
- ・25日(水)「エリア支援」: 内山保育園の保育士と保健師の方が来ます。色々相談してね
- ★30日(月)「お誕生日会」: 3月生まれのお友達の誕生日会。

誕生日会以外のお友達も遊びに来て一緒に祝いをしてあげましょう。

※お誕生日さんは誕生日カードを作るので、事前に何回か遊びに来てください。

※誕生日カード・その他の工作に関して100円徴収させていただきます。

〈はなのこ広場へのアクセス〉 Tel 052-753-6780

【地下鉄・JR】「鶴舞」 【市バス】名古屋・栄系統「千早」下車

*車で来られる方は近隣の駐車場をご利用下さい。

住所: 名古屋市千種区吹上 1-2-15 サンライズ吹上 1階



緑の丘福祉会 HP <http://www.midorinooka.or.jp/>

【はなのこ広場の利用について】

●開所時間について

- ・月~金曜日 午前の部 10:00~12:30 (ランチタイム 11:15~12:15)
- 午後部 13:15~15:45

3月の土曜日は(第1・第4)の開所になります。お間違いなく。

※11:15~12:15の時間はランチタイムです。お食事希望の方はお弁当をお持ち下さい。冷蔵庫(冷凍庫)とレンジがあります。

●利用予約について

予約なしでご利用可能ですが、講習会やイベントの日(午前)は予約制とさせていただきます。※予約日の午後は通常通りです。

●利用するにあたってのお願い

- ・おむつ替えをするシートをご持参ください。
- ・施設を利用する際は、親子ともに自宅で検温をしてから来所して下さい。
- ・お子さん(保護者の方)が37.5℃を超えた発熱、元気がない、機嫌が悪い、食欲がないなど全身状態が不良な場合は、利用を控えていただくようお願い致します。
- ・マスクの着用は個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることが基本となります。ただし、感染症が流行している時などの場合は、スタッフから着用をお願いする場合があります。
- ・水分補給用の水か、お茶を持参してください。

※親子のどちらかが鼻水が多かったり、咳が出ていたり、体調が思わしくない場合は、登所を控えていただくようお願いいたします。

2月13日【2才児のあそぼう会】

オニのお面集合写真



リズム遊びを楽しんでから、♪まめまきのうたと「オニのパンツ」の歌を歌って、鬼のお面作りをしました。その後、お母さんたちに、紙つぶてを作ってもらいました。「♪オニはそと♪」のうたをうたって紙つぶてを保育士のオニに投げつけて盛り上がりました。

リズムあそび

とんぼのめがねでとびまわる～♪



オニのお面づくり



どんなお面になるかなあ

2月20日【発達講習会】 ～ことばを豊かにはぐくむために～

講習会講師：石井 美納子さん
(名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋)

今回は「ことばの土台作りの大切さ」についてお話を聞きました。
そのために大切なこととして、

- **食べる、遊ぶ、寝るなどメリハリのある生活リズムを整え、体づくりをする**
睡眠時間をしっかりと、午前中に活動することでお腹もすき、健やかな体作りが目指せます。
- **「共同注意」相手と同じものを見て、関心を共有することを大事にする**
例えば犬を見て、「あれは何だろうかわいいな」でも「ママが笑っているから大丈夫なんだ」など状況を理解する力に繋がっていきます。様々な感情交流をしながら、気持ちを言葉で伝え、安心感を育てていきます。また、手遊びやわらべ歌、ふれあい遊びなども情緒の交流が楽しめます。一人よりも誰かと一緒に楽しい！という経験を積み重ね、人と過ごす安心感を育てていきましょう。
- **知る、わかる、まねる、話す等は会話をすることで鍛えられる**

「あれ」「それ」「ちゃんと」ではなく、「お出かけするから靴はこうね」のように具体的に伝える「わんわんいたね」など注意を向けることで言葉を育てていきます。

- ★発音は子どもが発する言葉を否定せず、大人は正しい発音で話しましょう。
- ★言葉の成長は個人差が大きいので、コミュニケーション全体（理解や意思表示など）に目を向けることが大切です。

お話の後に、個々の相談にも丁寧に対応してもらい、利用者の皆さんも「今後の子育ての参考になる内容だった」と、とても好評でした。



